

職務経歴書

2022年07月01日現在

村上太一

■職務経歴

株式会社GIテクノス [期間] 2016年04月 ~ 2017年11月

期間	業務内容
2016年04月 ~ 2017年11月	<p>【概要】iOS向けPOSアプリ開発 【役割】iOSプログラマ 【メンバー数】13名 【チーム体制】マネージャ1名 ディレクター3名 iOSプログラマ3名 PHPプログラマ3名 Javaプログラマ3名 【使用技術】Xcode, Objective-C, Swift, SQLite, Realm, PostgreSQL</p> <p>【主な取り組み・評価】 美容室向けPOSアプリの新機能の開発・不具合の調査修正および 改修を行いました（SES）。</p> <p>画面は約30～50で、予約・会計・カルテ機能がありました。オフラインでも一通りの機能が動かせるようにするため、ローカルでも SQLite（のちにRealmを導入）でデータを保持し、適宜サーバーと同期をとる仕組みになっていました。2か月程度のOJTを経て新規機能追加や不具合調査・修正に取り掛かれるようになりました。</p> <p>Gitは導入済みでしたが、レビューやテストのワークフローは確立されていませんでした。また、ビューとロジックが分離されておらずコピーペーストによるコードの肥大化によって新規機能開発に差し障りが出てくるようになってきました。自動テストについてはサーバー再度含めて文化がなかったため、導入の提案はリジェクトされました。代わりに会社標準のテスト項目書（エクセル製）が発見されたためそれを用いてテストを行うことになりました。リファクタリングについても変更箇所をスクリーンショット付きですべて確認しなければいけないことになり、リリース期日をずらせないため工数を最小限に割いて行っていました。</p> <p>自主的に「レガシーソフトウェア改善ガイド」を読み、改善のコスト間隔とテストの導入の重要性について学び、手動テスト中心ながら実践していきました。自動テストは(XCTest)一部ロジックのみでしたが導入することができました。途中からiOSチームのリーダーを担当し、他のプログラマに指示を出す立場として、処理の一部に自動テストを</p>

	<p>書くよう指導することができました。リファクタリングについては該当箇所の機能追加の際に交渉し工数を確保した後に対応しました。</p> <p>プロジェクトに参加して9か月後、OJTを担当していた先輩社員が他の現場へ引き抜かれた上iOSプログラマのプロパー社員も別プロジェクトに異動したためプロジェクト内でiOSを一番知っているエンジニアとしてさらに半年開発に従事しました。その間自社からiOSアプリ未経験の二人の社員を受け入れ、自身の実装作業と並行してメンバーのヘルプと進捗を管理する立場として振舞いました。工数見積もりを行い大きな開発遅延を発生させることなく、リスクのある会計処理については実装時にペアプログラミング相当のOJTを行うことによって知識の齟齬を埋めることによって回避しました。</p>
--	---

株式会社Showcase Gig [期間] 2017年12月 ～ 2019年5月

期間	業務内容
2017年12月 ～2018年02月	<p>【概要】カフェテリア注文アプリ 【役割】iOSプログラマ 【メンバー数】3名 【チーム体制】ディレクター1名 iOSプログラマ1名 デザイナー1名 【使用技術】Swift, RxSwift, Alamofire, Swinject 【主な取り組み・評価】 ビル内カフェ向けの注文アプリを1から作成しました。10画面程度の小規模なアプリです。</p> <p>技術的な面としては100%SwiftでRxSwiftなどの現場でも使われているライブラリを用いて、iOSプログラマならソースを一読しただけで処理を把握できるような素直なアプリを作成しました。スタンダードなMVVMアーキテクチャに基づいて、単体テストをViewModelに関してメソッドごとのC1カバレッジ100%と代表的なシナリオのユースケースについて書き、真っ当なアプリを作成することができました。</p>
2018年3月 ～2018年5月	<p>【概要】弁当注文サービス 【役割】フロントエンドプログラマ 【メンバー数】9名 【チーム体制】ディレクター1名 デザイナー1名 フロントエンドプログラマ3名 バックエンドプログラマ4名 【使用技術】JavaScript, Nuxt.js, Firebase 【主な取り組み・評価】 テイクアウト弁当サービスをWebで行うtoC向けアプリと注文された弁当のステータス管理をするtoB向けアプリの開発に途中参画しました。Firebase Authenticationを利用したログイン機能、印刷向け画面の作成、その他軽微なタスクの対応を行いました。</p>

	<p>自動テストの導入について提案と仮実装をしましたが、私自身がJavaScript初開発であること、初期から開発に携わっているメンバーの意向ことなどから今回はすべて手動テストとなり、テストをスプレッドシートで作成しました。</p>
<p>2018年6月 ～2018年7月</p>	<p>【概要】フード注文Alexaスキル 【役割】Alexaアプリプログラマ 【メンバー数】5名 【チーム体制】ディレクター1名 デザイナー1名 プログラマ1名 テスター2名 【使用技術】Python, Node.js 【主な取り組み】 Alexaで他社サーバーの注文APIを叩いてフード注文を行うスキルを作成しました。プロトタイプをNode.jsで作成し、検討の結果Pythonで実装することになりました。課題として別エンジニアの作成したPythonのプロトタイプを工数の関係からそのまま使うことになり、既存実装と仕様の大部分が異なっていたことですり合わせに難航しました。いくつかの仕様をAlexa向けに変更するように提案することで工数を調整しリリースすることができました。</p>
<p>2018年8月 ～2018年9月</p>	<p>【概要】モバイルオーダーアプリ(iOS) 【役割】iOSアプリプログラマ 【メンバー数】6名 【チーム体制】ディレクター1名 デザイナー1名 iOSアプリプログラマ1名 Androidアプリプログラマ1名 PHPプログラマ2名 【使用技術】Swift, RxSwift, Firebase, PHP 【主な取り組み】 自社アプリにFirebase DynamicLinksを使ったQR読み込みによるテーブルチェックイン機能を実装しました。選考調査のためPHPでFirebase REST APIを叩くサンプルを作成し検証を行い、一部コードについてはそのままバックエンドに取り込まれ本番で運用されました。</p>
<p>2018年9月 ～2018年12月</p>	<p>【概要】飲食チェーン公式アプリ(Android) 【役割】Androidアプリプログラマ 【メンバー数】8名 【チーム体制】ディレクター1名 デザイナー1名 iOSアプリプログラマ1名 Androidアプリプログラマ1名 PHPプログラマ4名 【使用技術】Kotlin, RxJava(RxKotlin), JUnit 【主な取り組み】 他社が作成した飲食チェーンの公式アプリを引き取り、中規模の機能(スタンプ機能・実店舗との連携機能)を追加しました。内部実装の問題として画面表示の度に毎回サーバーへのリクエストを叩いていたためソースが冗長になり画面遷移に時間がかかり、機能追加の障害になっていました。そのため解決策としてAPIリクエストの結果を</p>

	<p>キャッシュして取り廻す設計に変更しました。また、テストが1件もなかったため改修箇所にJUnitのテストを追加し、GitHubで Pull Requestを作成した段階でTravisCIでテストを自動で実行するように対応しました。</p>
<p>2018年12月 ～2019年4月</p>	<p>【概要】飲食チェーンテーブルオーダーWebアプリ 【役割】フロントエンドプログラマ 【メンバー数】7名 【チーム体制】ディレクター1名 デザイナー1名 フロントエンドプログラマ1名 PHPプログラマ4名 【使用技術】JavaScript, Vue.js, Vuex 【主な取り組み】 QR読み込みから開く小規模のテーブルオーダー用アプリをVue.js でゼロから作成しました。主要機能は2か月弱で完成し、以降は サーバサイドの仕様変更とデザイン調整の対応をこなしました。テストは大幅な仕様変更が予想されたため、個々のコンポーネントの最小限度の機能のみをjest/ TravisCIで対応しました。</p>
<p>2019年3月 ～2019年5月</p>	<p>【概要】社内向けQRコードリーダーアプリ 【役割】Flutterプログラマ 【メンバー数】2名 【チーム体制】Flutterプログラマ1名 PHPプログラマ1名 【使用技術】Flutter 【主な取り組み】 社員に割り振られたQRコードを読み取り、サーバにリクエストを 投げる2画面だけの小規模アプリをFlutterで技術調査を含めて作成しました。iPadのフロントカメラを利用する仕様となりましたが、当時のライブラリではサポートしているものがなかったため、 https://github.com/bcko/flutter_qrcode_reader/pull/38 で 機能追加のプルリクエストをだしつつ、PJではフォークしたライブラリを改修して対応しました。</p>

株式会社ココナラ

[期間] 2019年10月 ～ 2022年7月

期間	業務内容
<p>2019年10月 ～2022年07月</p>	<p>【概要】CtoC向け自社サービスのネイティブアプリ開発・運用 【役割】ネイティブアプリプログラマ 【メンバー数】3～5名(iOSアプリチーム) 【使用技術】Swift, RxSwift, Alamofire, grpc-swift, SwiftUI, Combine, Kotlin, PHP, Go 【主な取り組み】 2017年頃から開発・運用されている自社サービスのiOSアプリプログラマとして新機能の開発、不具合調査や修正、リアーキテクチャとチームのリード、面接及び新規参入者受け入れ対応等を行いまし</p>

	<p>た。iOSに限らずAndroidアプリの改修やネイティブアプリ向けのAPIの開発・修正のためにバックエンドにもコミットし、リリース対応等を行いました。</p> <p>既存のiOSアプリ実装は既に退職した開発者によって設計されたMVPアーキテクチャでしたが、独自の理念と解釈によって複雑で一般的でない実装となっていました。そのためテストバリエーションと改修に問題が発生していました。互換性を保ちつつこれらの問題を解決するため、機能開発と並行しながらリアーキテクチャリングを実施しました。スタンダードなMVVM+レイヤードアーキテクチャに移行し、テスト可能で必要十分な自由度を確保しました。</p>
--	--